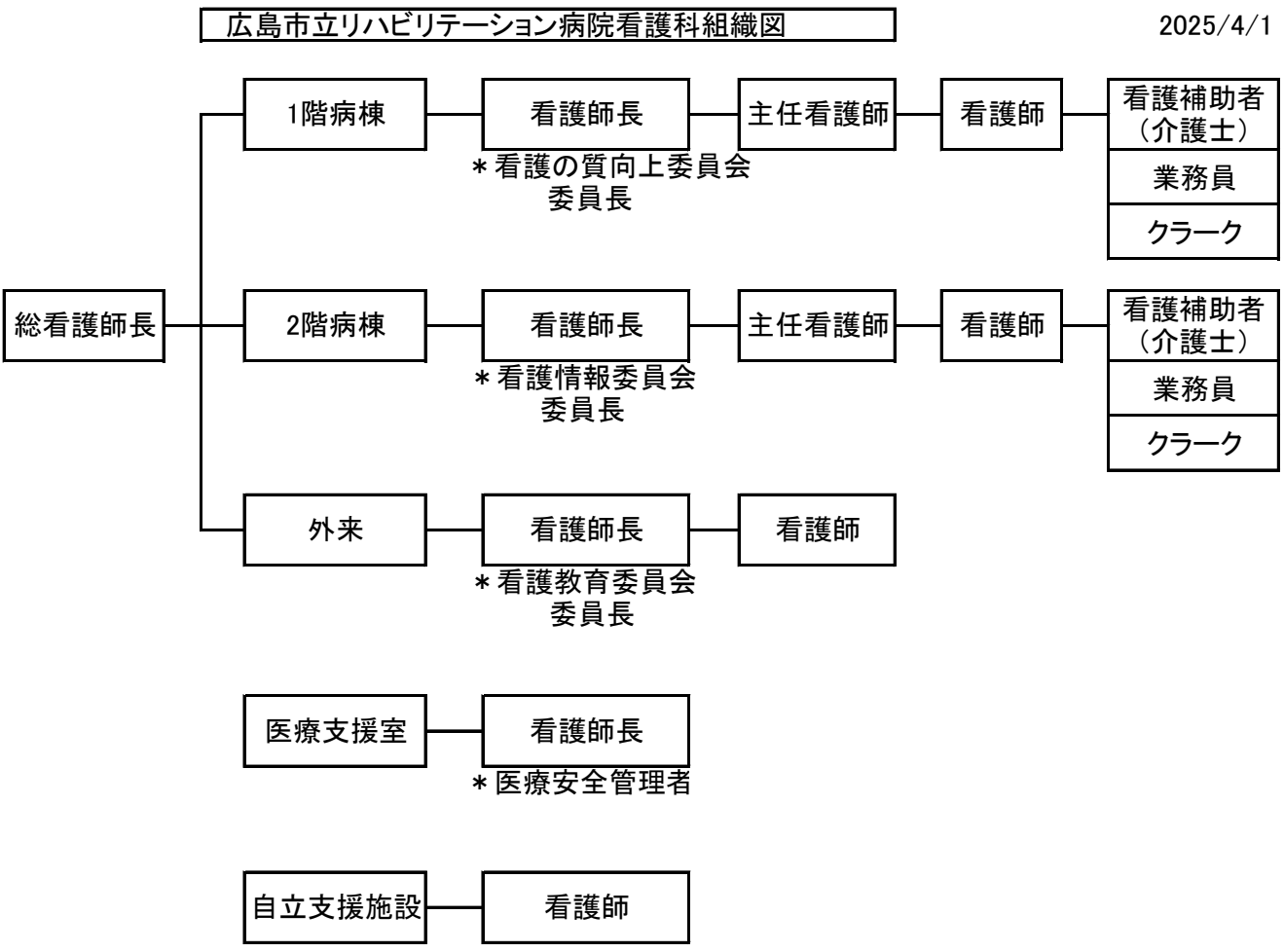


1. 看護科組織図



2. 病院理念、看護科理念・基本方針

病院理念

私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

看護科理念

私たちは、利用者の皆さんの立場を尊重し、「その人らしい生活」の再構築を支援するため、質の高いリハビリテーション看護を提供します。

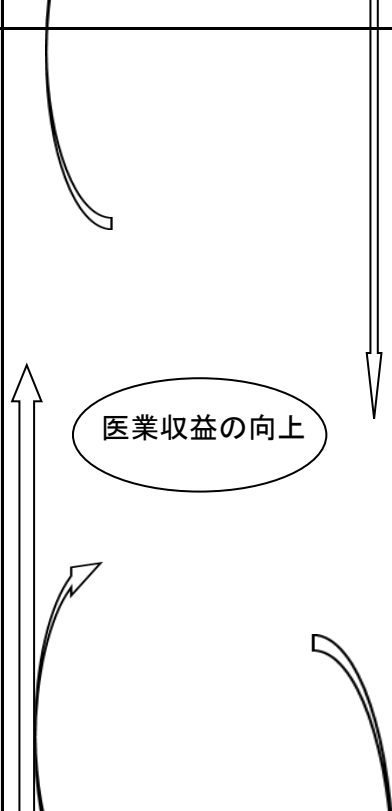
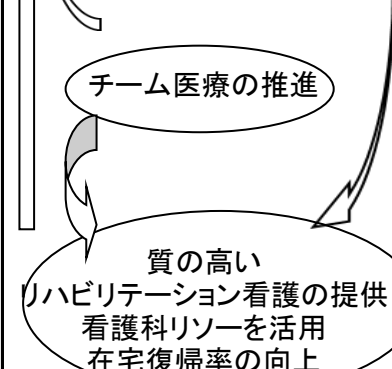
看護科の基本方針

- 1) 利用者の皆さんの自己決定を尊重し、誠意をもった細やかな対応をします。
- 2) 事故防止に努め、安全な看護を提供します。
- 3) チーム医療の一翼を担い、専門性の高い科学的根拠に基づいた看護を提供します。
- 4) 急性期および地域医療との連携を強め、満足していただける看護を実践します。

3. 看護科BSC

令和7年度 看護科のバランストスコアカード

目標: 一歩先へ挑戦する組織!! 一人一人が自己の役割を認識し、質の高い看護・ケアの実践に努めます。

	経営シナリオ	各視点の戦略目標 重要成功要因:CSF	重要業績評価指標 (KPI)	KPI オーナー	R6年度 の実績	R7年度 の目標値	アクションプラン 実施項目	期限・回数	上半期取組実績	最終評価
顧客の視点		利用者との信頼関係の構築 地域との信頼関係構築 学生実習受け入れ(看護学生・中学生) 市民病院との連携により信頼関係の構築	患者満足度調査 接遇研修参加率 新規入院患者数 出前講座件数 学生受け入れ人数	看護師長 総看護師長	患者満足度92.0% 接遇研修参加率100% 新規入院患者数494人 学生受け入れ人数延べ670人	患者満足度92.5% 接遇研修参加率100% 新規入院患者数490人 学生受け入れ人数延べ700人	患者満足度調査の実施 接遇研修を看護科全体で実施するとともに各部署でも1回以上研修をする。 新規入院患者数をモニターする。 実習受け入れ基準に沿って学生の実習を受け入れる。実習が困難な場合、学内演習に参加し評価を行う。	2回/年	患者満足度調査は10月・2月実施予定。 接遇研修10月必須研修。 新規入院患者225人(9月末時点前年同月▲31人) 学生実習受け延べ127人	患者満足度調査は2月に実施。 接遇研修10月必須研修し受講率75.5%であり、アンケートでは92%が実践活用と回答あり。 新規入院患者474人(前年度比較▲20人) 学生実習受け延べ759人 市看 304人 安田女子大398人 安佐准28人 広大29人
		安心安全な看護の提供	IA報告件数 研修会参加率 院内感染発生件数 研修会参加率 褥瘡発生率・持ち出し件数・医療関連機器圧迫創傷有病率・スキントピア発生件数 急性増悪転院患者数 膀胱留置カテーテル離脱率 気管切開チューブ離脱率	医療安全管理者 感染対策委員 褥瘡対策委員 看護師長 総看護師長	IA報告件数レベル0 536件 レベル3b以上 8件 リスク研修会参加率100% クラスター発生 2件 感染研修参加率100% 褥瘡有病率0.2% 持ち出し件数6件66% 医療関連機器圧迫創傷有病率1.4% スキントピア発生有病率0.5% 急性増悪38件 8.4% 膀胱留置カテーテル離脱率19.5%	IA報告件数レベル0 600件 レベル3b以上 8件 リスク研修会参加率100% クラスターの発生 2件 感染研修参加率100% 褥瘡有病率0.2% 持ち出し件数6人 医療関連機器圧迫創傷有病率1.4% スキントピア発生有病率1.5% 急性増悪10% 膀胱留置カテーテル離脱率30%	必須研修(リスク・感染など)の研修会は全員参加を目標にする。 IA情報を職員間で共有するため、IAカンファレンスを実施する。レベル3b以上を発生させないように、各所属のリスク基本的な感染対策を遵守する。PPEを適正に使用する。 アウトブレイクを防止する。 クラスターを発生させないよう、感染対策の徹底。 医療関連機器圧迫創傷(MDRUP)の早期発見早期治療を行う。 急性増悪転院患者数をモニターする。 膀胱留置カテーテル離脱率をモニターする。	2回/年 1回/年	リスク必須研修(ナーシングスキル)全職員受講。 IA報告レベル0 517件 1 536件 2 222件 3a 89件 3b 6件 クラスター発生1件 感染研修受講率100% 褥瘡保有者治療率 72% 褥瘡院内発生件数 0.5%(9件) 褥瘡院内発生治療率100% 褥瘡保有者持ち出し4件 医療関連機器圧迫創傷発生率0.8%(12件) スキントピア保有件数 0.8%(12件) 急性増悪割合9.2%(54件) 膀胱留置カテーテル抜去率 12件0.8%	
財務の視点		病床利用率の向上 算定もれの防止	病床利用率 認知症ケア算定1算定件数 リハ総算定料算定率 摂食機能療法件数 摂食嚥下支援加算件数 排尿自立支援加算	看護師長 総看護師長	病床利用率92.5% 認知症ケア算定1算定件数10,253件 総合機能評価加算(50点)235件 入退院支援加算(700点)342件 排尿自立支援加算717件	病床利用率95.0% 認知症ケア算定1算定件数10,500件 総合機能評価加算 250件 入退院支援加算 360件 排尿自立支援加算件730件	病床利用率をあげるため退院情報を早めに把握し、常に利用率を意識し、病床利用率の促進を図る。 主治医・医療連携担当者との情報交換を頻回に行う 各チームの加算算定状況を把握する 医事課と情報交換を行い算定漏れを把握する		病床利用率93.8%(9月末時点) 排尿ケア加算337件 認知症ケア加算5541件 総合機能評価加算111件 入退院支援加算205件 排尿自立支援加算337件	病床利用率94.0% 排尿自立支援加算698件 1,399,600円 認知症ケア加算11,686件 4,602,509円 総合機能評価加算238件 119,075円 入退院支援加算367件 2,852,500円
		看護外来の継続	フットケア外来患者数	皮膚排泄 認定看護師	フットケア外来新規患者 6人 フットケア外来 61人	フットケア外来新規患者8人 フットケア外来の拡充 70件	新規フットケア患者を増やすため、糖尿病罹患患者など入院中から情報提供を行う。 HP上で広報を行う。	4回/年	フットケア新規9名 フットケア外来延べ患者数 62件	フットケア新規12名 フットケア外来延べ患者数 107件
		外来収益の向上	外来リハビリ・通所リハビリ 専門外来(高次脳機能評価・自動車運転評価・摂食嚥下障害評価・難病外来・ボトックス注射等) 患者数	外来看護師長 総看護師長	外来リハビリ 3,703人 通所リハビリ 445人 専門外来(高次脳機能評価・運転評価・摂食機能障害評価・難病外来・ボトックス注射等) 延べ267件	外来リハビリ 3,800人 通所リハビリ 450人 専門外来(高次脳機能障害・摂食機能障害評価・神経難病外来・高次脳外来・ボトックス注射等) 延べ270件	退院後、外来リハビリに移行できるように、情報提供を行う。専門外来患者数を増やすために、入院時から医師・認定看護師・スタッフと連携し、迅速な外来受診へつなげていく。		外来患者延べ数 4443人 外来リハビリ5,810人 通所リハビリ3058人 通所リハビリ265人 専門外来ボトックス50人 神経難病2人	外来患者延べ数 9,317人 外来リハビリ 5,810人 通所リハビリ 5,41人 専門外来ボトックス 42人 神経難病外来 32人 高次脳外来 3,702人 摂食嚥下評価外来 6人 機能神経外科外来 153人
		医療保険による退院後訪問指導	退院後訪問指導件数	看護師長	退院後訪問指導件数 33件	退院後訪問指導件数35件	安心して自宅退院できるように調整を行い、在宅スタッフへ引き継ぐ。機能低下を最小限にできるよう自宅でできる訓練も取り入れる。退院後訪問指導要件を満たす患者への訪問指導を実施する。	1回/月	退院後訪問指導5件	退院後訪問指導12件
内部(業務)プロセスの視点		NST介入による低栄養の改善 個別訓練実施による訓練強化 病棟訓練実施による訓練量の確保 背損バスの導入	NST介入患者数 個別訓練実施数 病棟訓練実施数 背損バス実施患者数	NST委員 介護士 看護師長 総看護師長 回復期リハ看護師	NSTプレ介入患者3名 摂食嚥下支援加算延べ704件 病棟訓練実施数 延12,018人 背損バス実施患者数10人	NSTプレ介入患者5名 摂食嚥下支援加算延べ720件 病棟訓練実施数 延12,000人 背損バス実施患者数10人	NST介入者を病棟で把握し、多職種協力で支援する。病棟での強化訓練に参加し、訓練量をあげることで、ADL回復を促進させる。 背損バスの実施に取り組む。	1回/月	NSTプレ介入1件 摂食嚥下支援加算1921件 病棟訓練実施数5595件 背損バス実施0	NSTプレ介入1件 摂食嚥下機能回復加算505件 1,060,500円 病棟訓練実施数延べ12,029件 背損バス実施 9人
		在宅復帰のための支援を強化 入院患者のADL向上のためのグループ活動を持続し、FIMの改善とADL自立へのサポートを実践 認定看護師を活用し、看護の質向上を図る	重症率 在宅復帰率 実績指数	認定看護師 リハビリ看護師 看護師長 総看護師長	重症率(40%以上) 48.1 在宅復帰率(70%以上)86.9% 重症患者回復率(30%以上)58.2 実績指数(40以上)46.8	重症率48.0 在宅復帰率87.0% 重症患者回復率55.0% 実績指数 45%	入院判定会議で、重症率・在宅復帰率・実績指数について考慮しながらベッドコントロールを行う。家族への介護指導を行い、安全に自宅退院できるように支援する。	2回/年	重症率50.7% 在宅復帰率88.6% 重症患者回復率64.0% 実績指数50.3	重症率48.5% 在宅復帰率89.9% 重症患者回復率66.9% 実績指数52.8
学習と成長の視点		看護管理に関する勉強会	看護管理研修会の開催 管理ラダーの見直し(4病院共通)	総看護師長	マネジメントラダー新取得15人(13%)、Ⅱなし(6%) 管理者研修 ファーストレベル 2名	マネジメントラダーⅠ取得 20%・Ⅱ取得 5% 管理者研修 ファースト研修 2名 セカンド研修 1名	マネジメントラダー取得率を上げることで、管理者育成につなげ、質の高い医療提供を行う。 認定看護管理者研修の受講を促進する。	4月～3月	ファースト研修3名受講 セカンド研修1名受講	ファースト研修3名受講 セカンド研修1名受講
		ナーシングスキル研修参加 介護士ラダーの取得	研修参加件数 介護士ラダー取得 研究発表	教育委員会 看護師長 総看護師長	キャリアラダー新取得14人(85%) Ⅱ1人(69%) Ⅲ4人(46%) Ⅳ4人(14%) 介護士ラダーⅠ取得 18人(95%) 介護士ラダーⅡ取得 16名(84%) 研究発表 1件	研修参加件数 25回/年/人 キャリアラダー取得Ⅰ90% Ⅱ75% Ⅲ50% Ⅳ20% 介護士ラダー取得取得Ⅰ100% Ⅱ100% Ⅲ 50%取得 研究発表 2件	集合研修とナーシングスキルやオンデマンド研修を組み合わせ活用し、研修参加率向上につなげる。 看護師キャリアラダー取得率向上に向け、効果的な目標面接を実施する。 介護士ラダーⅢ取得とⅣ構築を目標に取り組む。 研究発表の機会を提示し、積極的に取り組む。	10月2月	キャリアラダー新取得Ⅰ3名(92%) Ⅱ1名(78%) Ⅲ1名(57%) 介護士ラダーⅡ1名(100%) Ⅲ3名(17%) 看護学雑誌執筆3名 研究者0	キャリアラダー新取得Ⅰ3名(95%) Ⅱ2名(80%) Ⅲ3名(55%) 介護士ラダーⅡ1名(89%) Ⅲ3名(17%) 看護学雑誌執筆3名 研究者0
		職員満足度の向上	職員満足度評価調査 夜勤アンケート調査 年休取得日数 離職率 時間外の削減 メンタルヘルスチェック回数	心理療法師 看護師長 総看護師長	職員満足度評価調査ポジティブ系平均3.50 ストレス系 平均2.97 年休取得日数 平均11.51日/年 離職率 8.69% 時間外 2,846時間/年(R5 3,142時間) メンタルヘルスチェック回数 1回	職員満足度評価調査 ポジティブ系平均3.60 ストレス系平均2.8 夜勤アンケート調査 実施 年休取得日数 平均10日/年 離職率 8% 時間外 2,800時間/年 メンタルヘルスチェック回数 1回	職員満足度調査(チャレンジ)のストレス関連項目が改善できるように、勤務状況の把握と年休取得向上に向け、取り組む。時間外管理を行い、職場全体で削減に削減に向け、取り組む。 メンタルヘルスケアを活用し、必要時、産業医、保健師、臨床心理士へのフォローを依頼する。	8月	職員満足度調査(チャレンジ)9月実施し集計中 夜勤アンケート12月実施予定 年休取得平均4.56日 離職率は9月末時点で0。 時間外累計1082時間(前年同月累計▲344時間)	職員満足度調査(チャレンジ)ポジティブ系 平均3.40 ストレス系 平均2.32 夜勤アンケートは組合が実施年休取得平均10.2日 離職者 看護師3名 離職率4.47% 介護福祉士2名 看護科全体離職率 5.74% 時間外累計1,992時間(前年度累計▲828時間)

4. 看護科教育

1) 看護師・介護士教育

2025 年度 看護科研修一覧 研修年間計画

集合研修 看護科職員全レベル対象

研修名	目 的	研修方法	講師	実施日
看護師の特定行為研修制度について 回復期での血糖コントロールについて考えよう	看護師の特定行為研修制度について理解する 血糖コントロールに関する知識を身につける	講義	山根看護師長	4/16
BLS	救急蘇生の目的、一次救命の処置方法を理解し、急変対応に活かすことができる	講義 演習	小倉主任看護師 竹川看護師	5/21
皮膚・排泄ケア	必須研修 排泄ケアについて理解を深め、実践できる	講義	倉本主任看護師	6/18
摂食嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護について理解を深め、実践に活かす事ができる	講義	川端看護師長	7/16
認知症看護 必須研修	認知症看護を続けるためのメンタルヘルスの保ち方	講義 (WEB)	伊東主任看護師	9/17
高次脳機能障害患者の看護	高次脳機能障害機能障害患者の看護	講義	山根看護師長	10/15
回復期リハビリテーション看護/ICFの考え方	回復期リハビリテーション看護 ICF について	講義 (WEB)	日高主任看護師	11/19
接遇、患者/職員満足度を高めるには	社会人、専門職として必要な接遇ができる 患者/職員満足度を高めるために何ができるか考え実行できる	講義 GW	看護の質向上委員	12/17
看護情報	患者が見える看護記録をする事ができる	講義	看護情報委員	1/21
多職種・地域連携、継続看護	事例発表	発表	1F: 2F:	2/18
ポータルフォリオ発表会	1 年間の看護活動、目標管理を共有する	発表	看護: 介護:	3/18

部署別研修

研修名	目 的	研修方法	講師	実施日
部署別感染対策	感染対策について学び実践に活用する事ができる	講義 演習	感染対策委員会	7 月 1 月
部署別医療安全	医療安全について学び実践に活用する事ができる	講義 (WEB)	リスクマネジメント委員会	9 月 2 月
部署別認知症ケア	認知症ケア「認知症ケアの検査と生活」	講義 (WEB)	教育研修委員会	8 月
FIM研修	FIM について理解し、適切な評価をすることができる	講義 (WEB)	FIM ワーキング	9 月
高齢者の機能評価	高齢者看護におけるアセスメント 生命維持機能と治療の影響のアセスメント	講義 (WEB)	ナーシングスキル	10 月
職員接遇研修	医療者に求められる基礎的マナーと危機的状況における接遇について	講義 (WEB)	ナーシングスキル	10 月
摂食・嚥下機能研修会	VF 検査のポイント・主に解剖学的視点より	講義 (WEB)	高木医師・柏田 ST	11 月
メンタルヘルス研修	セルフケア ～ポジティブメンタルヘルスの視点から～	講義	瀧川臨床心理士	11/26
診療放射線研修	診療放射線の安全利用について	講義 (WEB)	診療放射線技師	12 月
部署別排尿ケア	排尿障害の種類と対応について	講義 (WEB)	倉本皮膚・排泄ケア認定 NS	12 月

医療ガス安全管理研修	医療ガスとは 酸素投与について	講義（WEB）	ナーシングスキル	1 月
BCP研修	災害や感染症などの緊急事態を想定した BCP の目的と具体的な対応方法について	講義（WEB）	田淵事務長	3 月

卒後・入職後 2 年目看護職員研修 （ラダーⅡ対象必須研修）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
看護過程・看護診断・ケーススタディ	フィジカルアセスメント	講義 演習	情報委員	5/23
【ナーシングスキル】専門領域スキルアップ フィジカルアセスメント	看護師向け身体診察 初級編 中級編（事前学習） 急変対応 事例検討：アナフィラキシーショック ・ICF	動画講義 GW	教育委員会	7/18
社会人基礎力	社会人基礎力を強化するための演習 必須文献：社会人基礎力を鍛える 新人研修ワークブック	講義 演習	総看護師長 教育委員	10/17
リーダー業務 オリエンテーション	ケーススタディ	講義 演習	教育委員会	12/19
【日看協オンデマンド研修】 ラダーⅡレベル到達の為の研修	JNAラダーⅡ到達の為の研修 「地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度」 「ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスとその理解」 ・リフレクション研修	動画講義・GW 演習	教育委員会	2/6

キャリアラダーⅢ対象年間教育プログラム （看護師経験3年程度～）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
看護管理研修 家族看護 リハビリテーション看護実践場面における倫理的行動について	「看護管理」受講後レポート課題あり 「家族看護概論」 「家族看護 応用編」自己学習 （ラダー認定申請書類の作成など）	集合研修 動画講義 GW	総看護師長 教育委員会	8/8
回復期リハビリテーション看護 入退院支援 ACP	レポート提出 回復期リハビリテーション看護 「協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス」 「自施設周辺の地域包括ケアシステムの理解」	講義 動画講義	回復期リハビリテーション 看護認定看護師 教育委員会	11/14
【院外】 広島県看護協会 集合研修 実地指導者研修	実地指導者が新人看護職員の職場への適応状況を把握し、基本的な看護技術の指導および精神的支援を行うために必要な能力を修得する 実地指導者が、所属部署の新人看護職員研修計画に沿って教育担当者、部署管理者とともに部署における新人看護職員の個別の研修プログラムを立案、実施、評価するために必要な能力を修得する	講義 演習 GW	広島県看護協会講師	9 月 ～11 月
【院内】【GW】 グリーンケア 災害時の医療と看護 身体抑制について考える	[動画講義]家族に寄り添うグリーンケア [動画講義]災害時の医療と看護 災害時の医療と看護 [GW]当院における災害時の実際について [動画講義]身体抑制について考える [GW]リハビリテーション看護実践場面における倫理的行動について	動画講義 GW	老年看護専門看護師 伊東主任看護師 濱中主任看護師 教育委員担当者	1/23
リフレクション研修"	「当院におけるラダーⅢレベルの看護実践能力を持つ看護師の役割」	演習 GW	教育委員会 主任看護師"	3/6

キャリア開発ラダーⅣ対象年間教育プログラム（看護師経験５年以上）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
【院外】 ・広島県看護協会 ナーシングスキル ラダーⅢ～Ⅳ対象研修	以下の研修または同等の研修を修了する ・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・医療安全管理者養成研修（オンデマンド研修、看護協会集合研修） ・感染管理（実践編） ＊感染管理（基礎編）の受講修了者に限る ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 ＊「認知症ケア加算」に対応した研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング）	講義 動画講義 ラダーⅣ認定審査 申請をするまでに 50%の研修を受講 すること	教育委員会	個人調整
【日看協オンデマンド研修】 JNAラダーⅣ到達のための研修	「ケアの受け手の自己決定を支える他職種の協働・連携」視聴期間4/15～2/20 「キャリア開発と教育への取り組み～すべての看護職員のために～」 【演習】プレゼン テーマ「自分の描くキャリアデザイン」 【演習】ディスカッション：人材育成について 業務改善について	動画 講義	教育委員会	10/24
キャリア開発ラダー審査申請	「レポート作成」	演習	教育委員会	個人調整
【ナーシングスキル】	「災害時の医療と看護」	動画 講義	教育委員会	個人調整
看護研究	看護現場における研究課題を抽出し、主研究者とともに看護研究を実施 ＊共同研究者としての研究実施		教育委員会	個人調整

キャリア開発ラダーⅤ対象年間教育プログラム（看護師経験８年以上）

研修名	内容	研修方法	講師・担当者	実施日
【院外】 広島県看護協会 ラダーⅣ～Ⅴ対象研修	以下の研修または同等の研修を修了する ・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・研修責任者研修 ・医療安全管理者養成研修 ・感染管理【実践編】 ＊感染管理【基礎編】の受講修了者に限る ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 ＊「認知症ケア加算」に対応した研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング）	講義 動画講義 ラダーⅤ認定審査 申請をするまでに 80%の研修を受講 すること	広島県看護協会講師	個人調整
【ナーシングスキル】 ACP 自分らしくキャリアをデザインしよう 災害時の医療と看護	[動画講義] アドバンス・ケア・プランニングとは？～人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインを踏まえて～ [動画講義] 自分らしくキャリアをデザインしよう [動画講義] 災害時の医療と看護（管理者編） [演習] プレゼン・ディスカッション ・困難事例への対応 ・私の看護観	動画 講義 演習	教育委員会	12/5

【院外】 キャリアラダーⅤ認定審査申請をするまでに	・看護研究における倫理と研究の進め方 ・看護研究入門Ⅰ・Ⅱ ・災害支援ナース育成研修 ・地域包括ケアと看護職の役割 ・広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・教育担当者研修 ・研修責任者研修 ・医療安全管理者養成者研修 ・感染管理（実践編） ・感染管理（基礎編） ・看護におけるリフレクション ・ファシリテーションスキル ・看護職員認知症対応力向上研修 ・ACP（アドバンスケアプランニング） 受講数について 6項目 4つの実践力＋組織的役割遂行能力 自己教育・研究能力	講義 演習	院外講師	申請時
研究	臨床現場における研究課題を抽出し、主研究者として看護研究を実施する *主研究者としての研究実施、発表		教育委員会	申請時

集合研修 介護職員全員対象

研修名	目 的	内 容	研修方法	講師担当者	実施日
記録の書き方	経時、SOAPで記録が書く事や注意点を学ぶ事ができる。当院の介護福祉士が行っているカルテ入力について理解する事ができる。	記録の書き方	講義 演習	宗近	4/24
接遇とマナー	接遇の必要性を理解することができる	医療者としての接遇について	ナーシングスキル	介護士教育委員	5/1～ 5/22
急変時の対応	急変の対応を理解し、介護福祉士の動きが理解できる	介護福祉士の急変時の対応	講義・演習	中山	6/26
介護力スキルアップ	介護過程の基本を振り返り、個別性を考慮したアセスメントができる	介護過程の基本 アセスメント	ナーシングスキル	介護士教育委員	7/1～ 7/24
FIM	様々な場面でのFIMのつけ方を理解できる。 自立に向けての関わり方について理解できる	FIMの理解 ADL向上にむけての介入	講義 演習	森田	9/25
生活支援技術 移乗、ポジショニング	安全、安楽に移乗できる技術を身につける。 退院後を見据えた移乗介助、ポジショニングができる	移乗技術 ポジショニングについて	講義 演習	尾崎	10/23
感染	症状別の感染予防策を理解できる	感染対策の具体 認知症のある患者の感染対策	ナーシングスキル	介護士教育委員	11/1～ 11/27
生活支援技術排泄介助	排泄介助のポイントを知り、ケアに活かすことができる	排泄介助のポイント	講義・演習	河崎	12/25
倫理	様々な場面で患者に最大限配慮できているか振り返ることができる	様々な場面のケアについて	講義 演習	桐生	1/22
チームケア セーフティマネジメント	組織の理念、目標を確認し組織の一員としての行動を考えることができる。 ケアに係るリスク、環境によるリスクを予見でき防止策について学ぶことができる	組織理念、部署目標の理解 ケアや環境に関わるリスクについて	ナーシングスキル 講義 演習	介護士教育委員 藤村	2/1～ 2/26 3/26

2) 新人教育

2025年度 広島市立リハビリテーション病院 看護科新人教育プログラム

開催日	時間	研修テーマ	研修内容	研修目標	講師	対象者	ラダー
4/1 (火)	8:30～17:15	辞令交付 書類作成 オリエンテーション 組織とシステムの説明	別紙参照、各部署の挨拶と説明	当院における組織と各システムの概要が理解できる	院長 総看護師長	全部門	組織
4/2 (水)	8:30～9:30	看護科職員としての役割 (理念・基本方針・看護科目標)	病院理念のもと、看護科の目指すものを示す 看護協会入会ほか各種手続き 図書館の利用について	当院看護科における看護目標・方針を理解し、自らの看護活動に活かすことができる 看護協会入会・出勤簿・年休簿・勤務表 タクシーチケット・図書館の利用について 理解することができる	総看護師長	看護科	ニーズ
	9:30～10:30	看護科教育について	看護科の教育体制について ・教育計画・ナースングスキル ・ポートフォリオ・キャリアラダー	看護科における教育体制やその支援について理解することができる	川端師長	看護科	ニーズ 教育
	10:30～12:00	病棟オリエンテーション プリセプター紹介	病棟説明 各部署説明 挨拶	病棟や各部署の機能・構造について理解できる プリセプターとの良好な関係を築くことができる	プリセプター	看護科	組織
	13:00～14:00	回復期リハビリテーション看護/FIM:☆	回復期リハビリテーション看護について FIM について	回復期リハビリテーション看護に必要な知識・技術について学びを深める FIM について学びを深める	日高主任 梶本看護師	看護科	ニーズ
	14:00～15:00	ICF の考え方:☆	ICF の考え方	リハビリテーション看護に必要な ICF の考え方について理解する	日高主任	看護科	ニーズ
	15:00～16:00	職員倫理	職員倫理について(動画講義) ・病院で働く職員に向けた臨床倫理 1. 臨床倫理総論 2. 職員倫理	臨床倫理の基本的な職員倫理について理解できる	看護科 教育委員 (事務室)	全部門	意思
	16:00～16:35	放射線の取り扱い	放射線被爆・MRI の安全対策について	放射線被爆・MRI の安全対策を知る	診療放射線技師	全部門	協働
	16:35～16:55	当院で行う検査について	採血やエコー検査などの検査上の注意事項について	当院の主な検査や検査時の注意事項について	臨床検査技師	全部門	協働
	16:55～17:15	薬剤の取り扱い	薬剤科紹介と薬剤管理について	感染対策の基礎から実際までを学び、院内感染防止の具体策が理解できる。	薬剤師	全部門	協働
4/3 (木)	8:30～10:00	臨床モデルを用いた新人看護師研修「看護の気づき」1回目	臨床判断の基礎能力を養う(演習)	看護実践が臨床判断に基づき実施されていることを理解し、次の看護実践につながる有効な気づきをする。	看護師長 川端師長 濱中主任	看護科	ニーズ ケア
	10:00～11:00	看護・介護倫理	看護／介護実践の中での倫理的課題について	日々の看護実践の中での倫理的課題について意識付けできる	濱中主任	看護科	意思
	11:00～12:00	職員の健康管理とメンタルサポートについて	当院における職員の健康管理とメンタルサポートについて	当院の健康管理やメンタルサポートについて理解する	比良幅 保健師	全部門	組織
	13:00～15:00	看護記録・介護記録電子カルテへの入力	看護記録の目的・機能・構成要素について 看護診断、看護計画、評価(NOC・NIC) ペーパーペイシェントによる事例の介護過程の展開	看護記録の目的を理解し、記録することができる。 看護計画を正確に立案し、評価していく概念がわかる 記録をカルテ入力できる。	永松看護師	看護科	ケア
	15:00～17:15	認知症ケア:☆	認知症の病態生理 認知症患者のケア	認知症患者のケアに関する知識と技術を理解する	伊東主任	看護科	ケア

4/4 (金)	8:30～10:00	医療安全	医療安全に関する基本的な考え方、インシデント・アクシデントの報告 セーフマスターインシデントシステム入力方法の説明:☆	医療安全に関する基礎を学び、事故のない看護活動ができる インシデントシステムの入力方法および操作方法について理解する	杉岡師長	全部門	ケア
	10:00～11:00	看護必要度/日常生活機能評価	看護必要度/日常生活機能評価について	看護必要度/日常生活機能評価について理解し、評価できる	森本主任	看護科	ケア
	11:00～12:00	情報管理	個人情報保護・情報の取り扱いについて(動画講義) 1. 本人・家族との情報のやり取り 2. 医療従事者間の情報のやり取り 3. 情報倫理	個人情報保護法について、個人情報とは何か、医療従事者が日々取り扱う情報とはどのようなものかを理解する	教育委員	全部門	ニーズ
	13:00～13:30	医薬品安全使用のための業務手順書について	医薬品安全使用のための業務手順書について(必須研修)	医薬品安全使用のための業務手順書について	薬剤師	看護科	ケア
	13:30～15:30	脳卒中リハビリテーション看護:☆	リハビリテーション看護の現状・障害、専門的役割について	リハビリテーション看護の実践者として、基礎・基本となる知識を習得する	山根師長	看護科	ケア
	15:30～17:15	リハ栄養/NST 摂食嚥下障害看護:☆	リハ栄養・NSTについて 摂食嚥下のメカニズムと看護の実践について	リハ栄養・NSTが理解できる 摂食嚥下障害患者ケアの知識と技術を理解し実践する	川端師長	看護科	ケア
4/7 (月)	8:30～17:15	機構全体研修	広島市立病院機構の理念等 (広島市民病院 10 階講堂)	当機構の職員としての役割や責任、職員へのサポート体制について理解出来る	事務室	全部門	組織
4/8 (火)	8:30～9:30	退院支援、訪問看護	退院調整・在宅支援について	退院支援、退院後訪問指導の実際を知る。	杉原主任	看護科	ケア
	9:30～10:45	排泄ケア:☆	排泄障害の病態生理 排泄障害患者のケアの概念	排泄障害患者のケアの知識と技術を理解し、実践する	倉本主任	看護科	ケア
	10:45～12:00	褥瘡ケア:☆	褥瘡発生のメカニズムと予防・ケアの技術について	褥瘡の発生から治療までの過程が理解でき、治療法・患者教育に関する知識を学び実践する	倉本主任	看護科	ケア
	13:00～14:00	感染対策	感染対策に関する基本的な考え方、臨床での感染防止対策の実践について	感染対策についての基本的知識、臨床での感染防止対策の実践について理解する	ICT 梶原主任	全部門	ニーズ
	14:00～15:00	感染対策実技	実技	感染対策の基礎から実際までを学び、院内感染防止の具体策が理解できる	ICT 梶原主任	全部門	ニーズ
	15:00～17:15	急変時の対応:☆	患者の急変時の対応について	患者の急変時のアセスメントと救急看護を実施する	小倉主任 向井主任	全部門	ニーズ
4/9 (水)	8:30～17:15	基礎看護技術 ME 機器について	基礎看護技術について ME 機器の取り扱いについて (研修室)	看護に必要な知識、技術、態度を見につけ、看護業務手順に沿い、指導を受けながら安全かつ確実に看護技術を実施することができる *フィジカルアセスメントおよび演習含む 病棟で利用する ME 機器について知ることができる	ブリセプター 教育委員	看護師	ケア

☆：看護師転勤者・中途採用者参加項目（希望者のみ）

ラダー：ニーズ→ニーズをとらえる力、ケア→ケアする力、協働→協働する力、意思→意思決定を支える力、組織→組織的役割遂行能力、教育→自己教育・研究能力

3) 資格（看護協会、学会認定等）

資格	人数	備考
認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了	23	広島県看護協会
同セカンドレベル修了	10	広島県看護協会
同サードレベル修了	2	広島県看護協会
認定看護管理者	2	日本看護協会
老人看護専門看護師	1	日本看護協会
認定看護師	4	日本看護協会
特定行為研修共通科目修了	1	広島大学病院
回復期リハビリテーション看護師	2	回復期リハ病棟協会
医療安全管理者養成研修修了者	14	広島県看護協会
感染管理研修修了者	10	広島県看護協会
認知症ケア研修	9	広島県看護協会
診療情報管理士	1	四病院団体協議会
医療フットケアスペシャリスト	1	学会認定
災害支援ナース	3	広島県看護協会
実習指導者養成講習会修了者	9	広島県看護協会
社会福祉士	8	広島県
精神保健福祉士	1	広島県
介護支援専門員	8	広島県
介護福祉士	18	広島県
介護福祉士実習指導者講習会修了	7	広島介護福祉士会
介護福祉士ファーストステップ研修修了	5	広島介護福祉士会
看護教員資格者	1	広島県
大学院修士課程修了	3	大学院
経肛門の洗腸療法講習修了	3	学会認定
排尿自立支援研修修了	3	大阪府看護協会
特定高圧ガス取扱責任者 液体窒素	1	高圧ガス保安協会
福祉住環境コーディネーター2.3級	2	東京商工会議所

4) 院内資格

ラダー取得者

キャリアラダー	人数	%
レベルⅠ 取得者	64 人	97%
レベルⅡ 取得者	54 人	82%
レベルⅢ 取得者	37 人	56%
レベルⅣ 取得者	9 人	14%

マネジメントラダー	人数	%
レベルⅠ 取得者	11 人	17%
レベルⅡ 取得者	5 人	8%
レベルⅢ 取得者	1 人	1.5%
レベルⅣ 取得者	0 人	0%

院内認定看護師

摂食嚥下障害看護	3 人
脳卒中リハビリテーション看護	3 人
皮膚排泄	3 人
認知症看護	1 人

5. 看護活動

1) 認定看護師活動

2025 年度 認定看護師活動					
分野	名前・取得年・職位	実践		指導	相談
摂食嚥下障害看護	川端 直子 2010(平成 22)年 看護師長	実践 564 件 加算対象者 505 名	院内	4 月 新人職員研修講師 6 月 介護士リーダー研修講師 7 月 看護科研修講師	実践 564 件 教育 7 件 相談 7 件 摂食嚥下カンファレンス
			院外	POTT プロジェクト副代表 3 回/年 POTT 全国理事会 10 月 POTT 広島&廿日市 食事 ケア研修会 司会進行 POTT 広島理事会 7 月～2 月 3 回 POTTin 清鈴園 食事ケア技術研修会ファシリテーター 4 月～3 月(18 回) JSNAS 食事ケア 班活動会議 4 月～3 月 9 回 日本看護技術学 会 キャラバン研修 ファシリテーター	1 回/週開催 摂食嚥下ケアミーテ ィング 1 回/月開催
脳卒中看護	山根 ゆかり 2012(平成 24 年) 2021 (令和 3 年) 特定行為研修終了 看護師長	実践 77 件 摂食嚥下機能回復 体制加算 排尿自立支援加算の 対象者を含まない	院内	教育・指導 29 件 4 月 新人職員研修 講師 4 月・10 月看護科研修講師	相談 28 件 摂食嚥下カンファレンス 1 回/週 開催
			院外	8～10 月 安佐准看護学院 講師 11 月市民公開講座 講義講師 ブレインナーシング 第 42 巻 3 号 執筆	排尿ケアカンファレンス 1 回/週 開催
皮膚・排泄ケア	倉本 美和 2014(平成 26 年) 主任看護師	実践 920 件 フットケア外来 107 件 新規 12 件 排尿自立支援加算 (週 1 回 200 点) 延べ 698 件	院内	教育・指導 103 件 4 月 新人職員研修 講師 6 月 看護科研修 講師 8 月・1 月 介護士リーダー研修 講師 3 月 院内教育研修 講師	相談 109 件 排尿自立支援加算 ケアカンファレンス 1 回/週 開催 フットケア外来
			院外	6 月 広島市立看護専門学校講師 6・7 月 コンチネンス協会 初級 セミナー講師 6 月 JTFA 主催 研究会 講師	1 回/月 担当

認知症看護	伊東 有美子 2016(平成 28 年) 主任看護師	実践 876 件 認知症ケア加算 1 加算延べ 11,686 件	院内	4 月 新人職員研修 講師	指導 190 件 相談 191 件 認知症ケアカンファレンス 1 回/週開催
			院外	5 月～6 月 7 月 市政出前講座 講師 8・9 月 広島県看護協会 看護師対象認知対応力向上研修会 講師・ファシリテーター 8 月 たかの橋中央病院 認知症研修講師 9 月 看護連盟中支部研修会 認知症研修 講師 10 月 舟入市民病院 認知症ケア研修講師 10・12 月 広島県看護協会オンデマンド研修 演習支援 2 月 バリデーション研修 運営・演習支援	

回復期リハビリテーション病棟協会認定

回復期リハビリテーション認定	日高 タ子 2013 (平成 25 年) 主任看護師	脊損パス 9 件	院内	4 月 新人研修 講師 7 月 ラダーⅡ対象者研修 講師 9 月 FIM 研修 11 月 ラダーⅢ対象者研修 講師 11 月 看護科研修 講師	多職種との協働 FIM ワーキング主催
			院外	9 月 安佐准看護学院 講師	

2) 執筆

月	著者	題名	発行所
R7.4 月	山根ゆかり	BRAIN NURSING 動画でわかる 脳神経患者 ポジショニング・移乗	メディカ出版
R7.12 月	梶原正子 川端直子	リハビリナース 特集「患者さんの関係を構築して、リハを促そう!失語の種類ごと分かる失語症の患者さんへのかかわりかた」	メディカ出版

R8.1 月	川端直子	BRAIN NURSING 頭頸部のポジショニング	メディカ出版
--------	------	------------------------------	--------

3) 社会貢献

	社会的活動	名前	役割	主催
1	広島県看護協会北支部理事	奥田加世	支部理事	広島県看護協会
2	日本リハビリテーション看護学会	奥田加世	理事	NPO 法人日本リハビリテーション看護学会
3	看護研究倫理審査委員	奥田加世	委員	広島県看護協会
4	地域医療支援病院運営委員	奥田加世	委員	広島赤十字・原爆病院
5	広島地方部会	山根ゆかり	役員	日本脳神経看護学会
6	はつかいち暮らしと看取りの サポーター研修会	川端直子	運営委員	はつかいち暮らしと看取りの サポーター
7	研修計画などプロジェクト運営	川端直子	副代表	POTT プロジェクト
8	看護職員認知症対応向上研修 プログラム検討会	伊東有美子	委員	広島県看護協会
9	NPO 法人日本コンチネンス協会 中四国支部	倉本美和	副支部長	日本コンチネンス協会
10	広島県 WOC ストーマリハビリテー ション講習会	倉本美和	実行委員	広島県 WOC ストーマリハビリ テーション
11	褥瘡・フットケアコンサルテーショ ン	倉本美和	指導者	五日市記念病院
12	広島県介護福祉士会	白鞘加恵	理事	広島県介護福祉士会

4) 講師

	研修名	名前	年月日	主催
1	コンチネンス協会 初級セミナー 講師	倉本美和	R7.6/28・6/29 7/26・7/27	コンチネンス協会
2	基礎看護技術 (日常生活援助IV) 講師	向井康人	R7.6月～11月	安佐准看護学院
3	JRNA 研修会「認知症ケア」 ファシリテーター	奥田加世	R7.7/12	NPO 法人日本リハビリ テーション看護学会
4	市政出前講座 講師 認知症	伊東有美子	R7.7/18	広島市

5	広島県看護協会「看護職員認知症 対応能力向上研修」(福山) 講師、ファシリテーター	伊東有美子	R7.8/2 ・ 8/3	広島県看護協会
6	認知症ケア研修 講師	伊東有美子	R7.8/8	たかの橋中央病院
7	臨床看護概論Ⅱ 講師 (回復期・リハビリ期)	日高夕子	R7.8/27	安佐准看護学院
8	広島県看護協会「看護職員認知症 対応能力向上研修」(広島) 講師、ファシリテーター	伊東有美子	R7.9/14 ・ 9/15	広島県看護協会
9	広島県看護連盟中支部研修会 ユマニチュード「その人らしく」 を支援する	伊東有美子	R7.9/25	広島県看護連盟 中支部
10	成人看護Ⅲ 脳・神経看護 講師	山根ゆかり	R7.10/8.10/15.10/22	安佐准看護学院
11	広島市立舟入市民病院 認知症ケア看護 講師	伊東有美子	R7.10/10	広島市立舟入市民病院
12	第 32 回中国ストーマリハビリテー ション講習会 講師	倉本美和	R7.10/11 ・ 10/12	中国ストーマリハビリ テーション講習会
13	認定看護管理者セカンドレベル 総合演習Ⅱ (実習) 助言者	杉岡真知子	R7.10/21・11/13	広島県看護協会
14	市民公開講座 講師 脳卒中の再発予防と生活習慣	山根ゆかり	R7.11/9	広島市立リハビリテー ション病院
15	おもいやり文化祭及び夜間勉強会 「結果が変わるポジショニング」 技術研修 司会進行	白鞘加恵	R7.11/16・12/16	日本介護福祉士会
16	日本看護技術学会 キャラバン研 修 ファシリテーター	川端直子	R7.12/20	日本看護技術学会
17	看護協会 演習支援	伊東有美子	R7.10/29 ・ 12/17	広島県看護協会
18	介護講座 ファシリテーター	白鞘加恵	R8.1/8	広島市立沼田高校
19	新人ナース集合研修 講師	奥田加世	R8.2/12	広島県看護協会

6. 臨地実習受け入れ校 (延べ人数)

令和7年臨地実習受入学校一覧		
学校名	分野	人数
広島市立看護専門学校	基礎看護学実習Ⅰ	112 人
	統合看護実習	192 人
安田女子大学看護学部	看護の統合と実践	42 人
	高齢者看護学	356 人
安佐准看護学院	2 年生 見学実習	28 人
広島大学	医療科 薬学科	29 人
合計 (延べ人数)		759 人